

| 教科 | 数学 | 科目 |
|------|------------|----------|
| 履修学年 | 2年 | 履修規定・週時間 |
| 教科書 | 数学活用(実教出版) | |

1. 教科・科目の目標

数学と人間とのかかわりや数学の社会的有用性についての認識、事象を数理的に考察する能力を養い、数学を積極的に活用する態度

2. 学習内容

1章:身の回りの数学

試合数や道順、点字など、身近な事象を取り扱うことにより、数学の深いかかわりがあることを理解させ、数学に関する興味・関心を高める。

2章:社会生活と数学

期待値や単利法・複利法、測量など、社会生活に必要な数学を取、数学が社会のあらゆるところで使われるようになったことを理解させ、数学を活用し、知的に生きる力を育む。

3章:数学の発展と人間の活動

ローマの数字や0の発見、黄金比など、数学の歴史にふれること、させてきた人々の、未知の世界を探検するような感動を味わい、数学を高める。

3. 学習方法

①授業

プリントを中心に展開する。時折、実演も行う。

②家庭学習

プリントの練習問題を解くことでの復習。

4. その他

適宜、生徒の実態に合った、または、現在流行している学習内容に

数学活用

2 単 位

を深めるとともに、
度を育てる。

が身の回りの生活と
める。

り扱うことにより、
せ、将来、必要な場面で

こより、数学を前進
【学に関する興味・関心

に変更する。

